

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：防災危機管理課 シートNo：67 作成日：2024/2/9

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1安全な暮らしを確保する	市民の命を守るため、災害時には市・各消防本部・消防団の連携が必要不可欠です。 そのためには、消防団及び常総広域消防本部（水海道地区）と茨城西南広域消防本部（石下地区）と継続して訓練や講習を実施し、連携を図ることが重要です。	消防団及び常総広域消防本部（水海道地区）と茨城西南広域消防本部（石下地区）とあらゆる災害に対応できるよう合同で訓練を実施し、救急・救助体制の連携を図ります。
	施策	2消防・救急		
	施策内容	救急・救助体制の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画	—		
	事務事業名	救急・救助体制事業		

② インプット（投入）

主 な 予 算 科 目	会計名	
	一般会計	
	款	消防費
	項	消防費
	目	非常備消防費
	事業	消防団運営経費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
災害対策本部訓練（水害編）	市職員（課長以上）・各広域消防職員・自衛隊等の関係機関	1回（実施回数）	1回（実施回数）	70名（参加者）	80名
災害対策本部訓練（地震編）	市全職員・各広域消防職員・自衛隊等の関係機関	1回（実施回数）	1回（実施回数）	360名（参加者）	380名
夏期訓練	消防団員・各広域消防職員	1回（実施回数）	1回（実施回数）	172名（参加者）	350名
冬期訓練	消防団員・各広域消防職員	1回（実施回数）	1回（実施回数）	215名（参加者）	350名
普通救命講習	受講希望者（一般企業・消防団員）	6回（実施回数）	5回（実施回数）	94名（参加者）	150名
消防出初式	消防団員・各広域消防職員	1回（実施回数）	1回（実施回数）	307名（参加者）	350名

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
災害対策本部訓練	2回（実施回数）	2回（実施回数）
夏・冬期訓練	2回（実施回数）	2回（実施回数）

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
消防団及び各広域消防職員による合同訓練実施回数	5回	5回

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐	その他	各種訓練の内容を充実させ、より実際の災害に即した内容としていくことにより、各広域消防本部や自衛隊・警察など関係機関とのさらなる連携強化を図っていきます。 また、各広域消防本部と協力し、普通救命の受講者を増やすことにより、救命処置の重要性を広めることにより助かる命を1つでも増やしていきます。
業務の振り返り								
今年度は2回の災害対策本部訓練を実施し、各広域消防や関係機関との連携を確認することができました。 また、夏期訓練においては、消防団及び常総広域消防本部（水海道地区）と茨城西南広域消防本部（石下地区）と連携して行うことができました。 今後、あらゆる災害を想定した訓練を実施していく必要があります。								